Farey sequence

Writter: slip0110

Tester: kioa341

問題概要

- ・ 0以上1以下の既約分数の数列が与えられる
- ・第n項は分母がn以下の数字である
- 第3項
 - 0 {0/1, 1/3, 1/2, 2/3, 1/1}
- ・ここで指定されたn項目の項数を求める

計算量の確認

- データセットの最大 10000
- 項番号の最大 1000000
- データセットごとに、項数を求めていてはTLE
- Fnはいつでも同じ値になるので あらかじめ1000000個、列挙できる

アプローチ (1/2)

- 第3項
 - 0 {0/1, 1/3, 1/2, 2/3, 1/1}
- 第4項
 - o {0/1, 1/4, 1/3, 1/2, 2/3, 3/4, 1/1}
- (第4項の項数) = (第3項の項数) + (第4項の追加項数)
- ・ 第4項で追加されたのは{1/4,3/4}
- ・ 2/4 については、1/2としてすでに追加済み
- ・ 追加されるものは4と4以下で互いに素の数字
- ・ 追加される項数はオイラー関数を用いてφ(4)

オイラー関数とは?

- ・正の整数nに対して、1からnまでの自然数のうち nと互いに素である個数を表す関数 。Φ(n)
- 1,2,3,4,5,6のうち6と互いに素なのは1と5
 → φ(6) = 2
- 1,2,3,4,5,6,7のうち7と互いに素なのは7以外 → φ(7) = 6
- ・ 構築方法は蟻本のP.243にソースコードがあります
 - 2つ載っていますが、今回はどちらを使ってもTLEにはなりません

アプローチ (2/2)

(第4項の項数) = (第3項の項数) + φ(4)

(第n項の項数) = (第n-1項の項数) + φ(n) 予めO(MAX_N)程度で構築可能 アリ本P.243 参照 (第1項の項数) = 2 ... { 0/1 , 1/1 }

・ ↑の漸化式を用いてO(n)で予め項数の列挙ができる

ファレイ数列の性質

- 第5項
 - o {0/1, 1/5, 1/4, 1/3, 2/5, 1/2, 3/5, 2/3, 3/4, 4/5, 1/1}
- ・ 追加される項はその両隣の項の 分子同士の和と分母同士の和で求められる
 - \circ 2/5 = (1 + 1) / (3 + 2)
- ・ 隣接する2項を{ a/b , c/d }とおいたとき (b * c) (a * d) = 1である

結果

• 正解数:46

• First Accept: ogiekako (20分)